



# 中央市民病院ニュース

No.86

## 透析患者さんに対する TAVI (経カテーテル大動脈弁置換術) を開始しました

循環器内科医長、心臓センター長 江原 夏彦

TAVI (経カテーテル大動脈弁置換術) は、大動脈弁狭窄症の患者さんに対して行われる治療です。胸を開かず、心臓を止めることなく、カテーテルと呼ばれる細い管を主に足のつけ根の動脈から挿入し、人工弁 (図 1) をバルーンで拡張して留置します (図 2)。外科手術と比較し、患者さんの負担が大幅に軽減することから急速に普及しています。当院は、2014年2月に兵庫県初の施設認定を取得して以来500人を超える患者さんにTAVIを行っています。2022年度は100例の患者さんに実施し、兵庫県では最多の症例数でした。ほとんどの症例で静脈麻酔併用の局所麻酔下を実施しており、創部の傷は1cm未満、手術時間も1時間程度です。緊急TAVIにも対応しております。

透析患者さんは全国に約35万人 (2021年末時点：日本透析医学会発表) おられますが、動脈硬化を引き起こしやすいため、大動脈弁狭窄症を患う方が一定数おられます。一般の患者さんに比べて透析患者さんは手術リスクが高いため、外科手術が困難な患者さんも多くおられました。透析患者さんの大動脈弁狭窄症に対するTAVIは一部の施設でしか実施できませんでしたが、本年8月から当院でも実施可能となりました。

透析患者さんは大動脈弁や動脈の石灰化が高度であることが多く、TAVIの



図1 SAPIEN 3 Ultra RESILIA, Edwards life science.

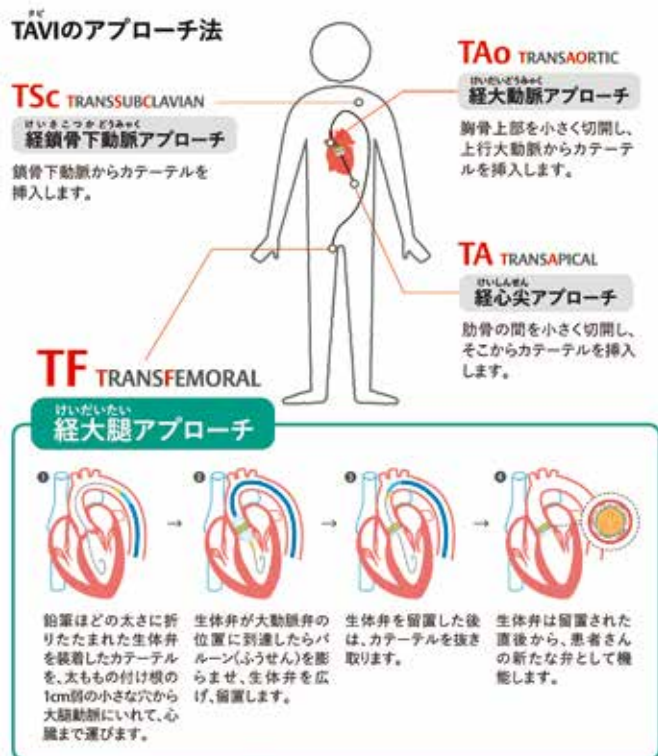


図2 TAVIの様々なアプローチ方法

### INDEX

透析患者さんに対する TAVI (経カテーテル大動脈弁置換術) を開始しました	1
再発・難治性悪性リンパ腫に対する CAR-T 治療の取り組み ~造血管腫瘍に対する細胞治療のニーズに応え続けるために~	2
病診連携アンケート結果の報告	4

地域連携懇話会ご参加のお礼	5
がんセミナー開催のお知らせ	6
医師の異動のおしらせ	7
患者さんをご紹介いただく際は	8

リスクも通常の手技と比較し高いとされています。心エコー、CT 画像および患者さんの併存症などを心臓血管外科医も含めたハートチームで慎重に検討し、安全で最適な治療が提供できるよう努めております。TAVI に適さないと判断された場合は外科手術をおすすめすることもあります。

透析患者さんでは動脈の高度な石灰化のため、TAVI の基本となる鼠径部の動脈からの挿入が困難なため、上行大動脈や心尖部からアプローチしたほうが安全な場合もあります(図 2)。当院は鼠径部以外からの TAVI の経験も豊富ですので安全な TAVI が施行できます。周術期の透析管理も腎臓内科とともに万全の体制で実施いたします。

大動脈弁狭窄症では、第二肋間付近で聴診すると、収縮期雑音が明瞭に聴取されますので、比較的に見つけやすい弁膜症です。大動脈弁狭窄症が疑われる患者さんがいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

循環器内科 TAVI 担当医師

職 種	氏 名	外来日
心臓センター長、医長	江原 夏彦	火
医長	谷口 智彦	月
医長	金 基泰	火
医長	豊田 俊彬	金

図はエドワーズライフサイエンス(株)より承諾を得て掲載しています。

再発・難治性悪性リンパ腫に対する CAR-T 治療の取り組み  
～造血器腫瘍に対する細胞治療のニーズに応え続けるために～

血液内科医長 永井 雄也

悪性リンパ腫の中で最も頻度の高い、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫は、R-CHOP などの多剤併用化学療法により、約 6 割の症例で完治が得られる一方、再発した場合には、従来の標準治療である大量化学療法により根治できる症例は全再発症例の 1-2 割に限られています。このような状況を打開する新たな免疫細胞治療として CAR-T 治療が期待されています。

CAR-T は chimeric antigen receptor(CAR) と呼ばれる、人工合成受容体を発現した遺伝子改変 T 細胞のことで、患者さん自身よりアフェレーシスされた T 細胞を材料として製造されます。B 細胞リンパ腫に対する CAR-T は、CD19 抗原を認識して攻撃するように設計されており、欧米では 2018 年より臨床導入され、本邦でも 2019 年 3 月より保険承認されました。

アフェレーシス産物の扱い(無菌調整など)や細胞製剤の凍結保存に関しては、厳密な細胞管理体制が求められるため、CAR-T 治療は限られた施設でのみ認可されています(2023 年 9 月時点で国内 44 施設、兵庫県内では当院と兵庫医科大学病院の 2 施設)。当院では早期導入を目指し、薬剤部・輸血検査管理室・細胞遺伝子検査室・臨床工学技術部と連携して運用体制(図 1)を構築した結果、市中病院としてはかなり早く、2020 年 11 月に施設認定され、2021 年 2 月にチサゲンレクルユーセル(商品名キムリア)の 1 例目、2023 年 4 月にリソカブタゲンマラルユーセル(商品名ブレヤンジ)の 1 例目を施行し、2023 年 9 月までに 27 例を施行しています。また ICU や脳神経内科と緊密に連携し、CAR-T 治療後早期にしばしば経験される

重篤な合併症（サイトカイン放出症候群、神経毒性など）にも速やかに対応できる体制を確立しています。これまでの経験をもとに、現在、75歳未満の症例に対して比較的安全な治療として実践できています。

有効性と安全性が明確に実証された現在、保険承認される CAR-T 製剤種の増加や更なる適

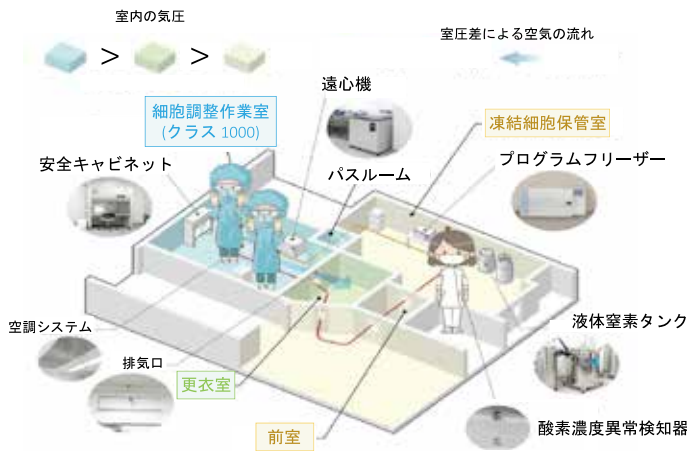


図 1：細胞調製室

当院南館の細胞調整室でアフェレーシス産物の凍結処理をしています。細胞調製室には、クラス 1000 のクリーンルーム（作業室）、プログラムフリーザーや液体窒素タンクなどの器材が設置されています。



アフェレーシス産物と凍結保存液を混合



プログラムフリーザーで - 80°C まで凍結



液体窒素タンクで凍結保管

応拡大（疾患・標的抗原・年齢上限の引き上げ）が進んでおり、これからの造血器腫瘍の治療において、主要な位置付けになると考えられます。当院では 2023 年内にアキシカブタゲンシロルユーセル（商品名イエスカルタ）も採用予定です。CAR-T 治療は多職種が携わるチーム医療の上に成り立っています。スタッフの育成や多職種間のコミュニケーションを通じて、今後も新規導入される細胞治療を、幅広く適切に提供できる体制（図 2）を維持し、同治療を必要とする患者さんに適時届けられるよう努めて参ります。

近年、病勢がコントロールできている間に CAR-T 治療を施行することが成績の改善に重要であることが分かってきました。再発症例では化学療法が有効な期間が短いことが多いため、速やかに CAR-T 治療へ繋げることが望ましいと考えられます。該当症例がございましたら、ぜひ早期にご紹介頂けましたら幸いです。

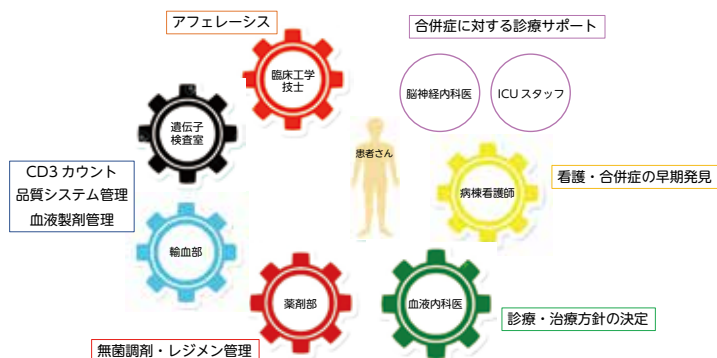


図 2：多職種スタッフで構成される CAR-T 診療チーム



多職種が参加する定期運用会議。それぞれの立場で気づいた問題点を取り上げ、恒常的な運用改善を心がけています。

多職種が協力して、それぞれの役割を果たすことで、効率的に安全な CAR-T 診療を提供できています。

## 病診連携アンケート結果の報告

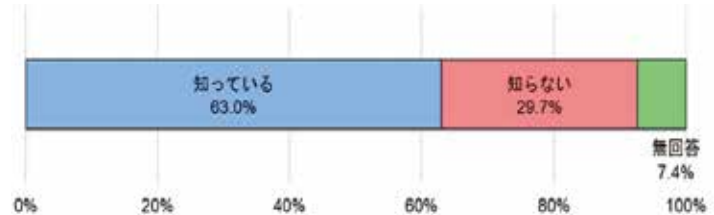
平素は、当院との地域連携につきまして、格別のご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和5年3月に神戸市内の診療所等の先生方を対象として病診連携アンケートを実施しました。集計結果について、抜粋して報告いたします。

**回答数 543 施設** (うち、WEBでの回答 234 施設)

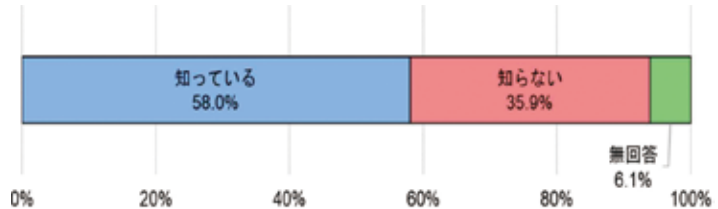
### ● FAX 予約外来待ち時間短縮認知度 (FAX 予約を行うことで外来待ち時間が短くなること)

知っている 63.0%  
(前回 433 件→ 342 件)  
知らない 29.7%  
(前回 156 件→ 161 件)



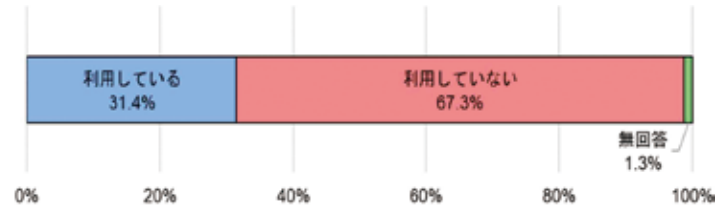
### ● インターネット予約について

知っている 58.0%  
(前回 275 件→ 315 件)  
知らない 35.9%  
(前回 319 件→ 195 件)



### ● インターネット予約利用状況

利用している 31.4%  
(前回 71 件→ 99 件)  
利用していない 67.3%  
(前回 200 件→ 212 件)



### 〈FAX 予約 / インターネット予約をご活用ください〉

当院全体の事前予約率は毎年増加しております。

地域の医療機関の先生方からご紹介いただいた患者さんの外来待ち時間を短縮するため、紹介予約の患者さんは予約時間通りに診察するように努めております。

事前予約を是非ご利用ください。



この度は「病診連携アンケート」にご協力いただきましてありがとうございました。いただいた多くのご意見やご要望は院内で共有し、より良い地域連携の構築に努めてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

神戸市立医療センター中央市民病院  
地域連携センター

## 地域連携懇話会ご参加のお礼

地域連携担当副院長 石川 隆之  
地域連携センター参事 石原 隆

地域医療機関の皆様におかれましては、日頃より当院の地域連携業務にご支援・ご協力いただきましてありがとうございます。

さて、9月28日にザ・マーカススクエア神戸において開催しました令和5年度中央市民病院地域連携懇話会には、お忙しい中、神戸市医師会副会長の久次米健市先生をはじめ、多くの方々（136名）にご参加いただき、盛況のうちに終えることが出来ました。ありがとうございました。

第1部の講演会では、院長の木原による開催挨拶の後、腫瘍内科部長安井による「看護連携アプリで変わる!? がん診療のカタチ」、脳神経内科副医長藤原による「急性視力低下に対峙する当院の新たな診療体制」の2題の講演を行いました。また、新任部長として、小児科・新生児科部長濱畑、心臓血管外科部長江崎、産婦人科部長青木、泌尿器科部長山崎、耳鼻咽喉科部長山本から自己および診療科について紹介させていただきました。

第2部の懇親会では、久次米先生から開会のご挨拶を賜りました。第1部に続き多くの方にご参加いただき、当院の職員も日頃中々お会いする機会のない地域医療機関の方々と顔を合わせ、言葉を交わすことができ、今後の地域連携を進めていくに当たり貴重な機会になりました。

お忙しい中ご参加いただきました皆様方には厚く御礼申し上げます。今後ともご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## がんセミナー開催のお知らせ

令和5年度日医生涯教育講座 ※申請中  
**がん診療オープンカンファレンス**

地方独立行政法人 神戸市民病院機構  
**神戸市立医療センター中央市民病院**  
 Kobe City Medical Center General Hospital



# AYA世代のがん診療

15歳～39歳のAYA世代のがん患者さんを支援する「AYAサポートチーム」が当院で発足しました。この世代に特有の医学的・心理社会的背景を理解し、医療者としてのどのような役割が必要とされているのか、一緒に学びましょう。

**演題:** AYAサポートチームの役割(仮)  
**講師:** 尾上 琢磨 先生(兵庫県立がんセンター腫瘍内科医長)  
**日時:** 2023年11月8日(水) 18:00～19:00  
**場所:** 神戸市立医療センター中央市民病院  
 本館1階 講堂 +WEB配信(Zoom)  
**申込方法:** 事前申込みをお願いします。  
 (締切: 10月31日(火))  
 QRコード or URLから申込みフォームに記入ください。  
 (開催日約1週間前に招待メールを送付します)  
<https://forms.gle/M6W1TA+HVT2QbEcw8>



対象: がん治療に関わる医療従事者 日医生涯教育講座: 申請中 参加費: 無料



年間約2万人のAYA世代の方が、新たにかんと診断されています。AYA世代がんの診療には、医師、看護師をはじめ、リハビリやMSW、心理職など多職種が連携して診療を行うことが重要です。患者さんは学生、就職、結婚、子育てとライフステージが大きく変化する年代であり、一人ひとりのニーズに合わせた支援が必要となります。

国立がん研究センター中央病院ホームページより

【主催】 神戸市立医療センター中央市民病院  
 【問い合わせ】 地域医療連携センター 間島・平川 TEL 078-302-4321

## 地域連携のお知らせ

### 連携登録医にご登録ください

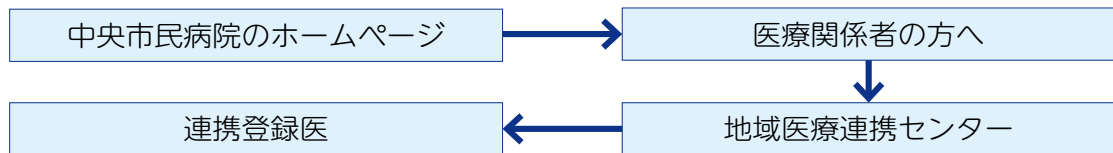
当院では、患者さんが地域で安心して継続した医療を受けられるよう、当院と連携・協力して安全で質の高い医療を提供される市内医療機関の先生方を「連携登録医」として登録する制度を設けています。

連携登録医として登録していただくと

1. 紹介患者さんに対する診療及び入院の対応を迅速に行うよう努めます
2. 紹介患者さんの診療記録を当院で閲覧できます
3. 当院の患者さんがかかりつけ医を探される場合に紹介いたします
4. 図書室など当院の施設・設備を利用できます（ご利用になれない施設・設備もあります）
5. 来院時の駐車場料金を無料にします
6. 当院が公開して行う症例検討会、研修会、講演会等に自由にご参加いただけます
7. 病院ニュースやオープンカンファレンス・講演会の開催情報などを E-mail でお送りいたします
8. 「連携登録医証」「インターネット紹介予約システムご利用 ID・パスワード」を発行いたします

新たに下記の先生方にご登録いただきました。

なお、連携登録医療機関一覧は、当院ホームページにも掲載しております。



### 医師の異動のお知らせ

#### 8月～9月

退職・転出			
診療科	役職	氏名	異動日
外科	医長	北村 好史	9月30日
総合内科	専攻医	高橋 彩理	9月30日
循環器内科	専攻医	本吉 司	9月30日
循環器内科	専攻医	坂東 岳人	9月30日
糖尿病・内分泌内科	専攻医	稲垣雄一郎	9月30日
消化器内科	専攻医	三谷 莉永	9月30日
呼吸器内科	専攻医	佐藤 亮寿	9月30日
精神・神経科	専攻医	盛野 弘法	9月30日
小児科・新生児科	専攻医	木原 崇志	9月30日
小児科・新生児科	専攻医	松井佑一朗	9月30日
形成外科	専攻医	岡 俊吾	9月30日
整形外科	専攻医	池尻 憲紀	9月30日
救急科	専攻医	渡部 博明	9月30日
救急科	専攻医	前岡 幸汰	9月30日
麻酔科	専攻医	飯田 櫻子	9月30日
麻酔科	専攻医	松本 あい	9月30日
外科	専攻医	谷野 敬輔	9月30日
外科	専攻医	河野 和馬	9月30日
外科	専攻医	市川 直	9月30日
外科	専攻医	大澤 悠樹	9月30日
乳腺外科	専攻医	池田 真子	9月30日

#### 9～10月

採用			
診療科	役職	氏名	異動日
循環器内科	副医長	安積 佑太	9月1日
外科	医長	成田 匡大	10月1日
総合内科	専攻医	松本 泰葉	10月1日
循環器内科	専攻医	岡田あずさ	10月1日
循環器内科	専攻医	奥田 豊生	10月1日
糖尿病・内分泌内科	専攻医	石黒 太郎	10月1日
脳神経内科	専攻医	幸地 宏樹	10月1日
消化器内科	専攻医	大島 章裕	10月1日
呼吸器内科	専攻医	鶴井佐栄子	10月1日
血液内科	専攻医	奥田 健大	10月1日
膠原病・リウマチ内科	専攻医	寺前 友樹	10月1日
精神・神経科	専攻医	浅井佳奈恵	10月1日
小児科・新生児科	専攻医	上原 和太	10月1日
形成外科	専攻医	宮田佑里恵	10月1日
整形外科	専攻医	瀬川 湧生	10月1日
整形外科	専攻医	古庄 裕也	10月1日
整形外科	専攻医	酒匂 大揮	10月1日
救急科	専攻医	高橋知佳子	10月1日
外科	専攻医	口分田 堯	10月1日
外科	専攻医	栗根 健人	10月1日
外科	専攻医	土佐 明誠	10月1日
乳腺外科	専攻医	岡田玖瑠美	10月1日
麻酔科	専攻医	櫻田 紗季	10月1日



患者さんをご紹介いただく際は・・・

● FAX・インターネットでご予約ください！ ●

地域の医療機関の先生方からご紹介いただく患者さんの待ち時間を短縮するため、診察・検査の紹介予約を受付しています。紹介予約の方は予約時間どおり受診できるように努めておりますので、是非ご利用ください。

**FAX予約**

- FAX 予約申込時、申込書に診療経過等の記載がなくても FAX 予約は可能です。診療情報はその日のうちに記入し、再送信して下さい。
- 患者さんのご都合がはっきりしない場合でも仮予約をお取りください。仮予約後、患者さんご自身で予約変更が可能です。地域医療連携センターへ電話で連絡をして頂くようお願いください。

**【手順】**

1. 「FAX 予約申込書」を当院地域医療連携センターへ送信して下さい。【簡易手続記載例を参照ください。】
  - 1) 「FAX 予約申込書」様式の上段赤枠のみ記載ください。（検査依頼については専用の検査様式をご使用ください）
  - 2) 後ほど予約申込日中に下段青枠に追記してから再送ください。
2. 「予約報告書（上段）兼初診予約券（下段）」を返信します。
3. 「予約報告書（上段）」は貴院で保管し、「初診予約券（下段）」及び「診療情報提供書（紹介状）」を患者さんに手渡してください。

※予約の必要と思われる診療情報も併せて記載してください。  
 ※中心に設ける科で診療科目がない場合、「がんセンター」等の欄に記入してください。  
 FAX 番号  
 所在地  
 氏名  
 性別  
 年齢  
 電話番号  
 診療科目  
 紹介目的  
 予約日  
 予約時間

1 **まず赤枠のみ記入して送信してください。**

2 **お手すきの際に青枠に追記して再送してください。もしくは、貴院様式の診療情報提供書を追加送信してください。**

**インターネット紹介予約**

インターネットで診察予約申込と予約券出力が可能です。

当院ホームページ > 医療関係者の方へ > 一般外来紹介予約 > インターネット紹介予約はこちら

**PET/CT 検査依頼のご案内とお願い**

放射線技術部

● 当院の PET/CT 検査について

2017年11月より、地域医療機関の先生方からの PET/CT 検査依頼に対応可能となりました。

当院は、サイクロトロンを備えており、PET 薬剤 (FDG) は、院内で合成し、品質検定に合格したものを使用しています。そのため、体重により適量の PET 薬剤を投与することが可能となり、安定した画像の提供を行っています。



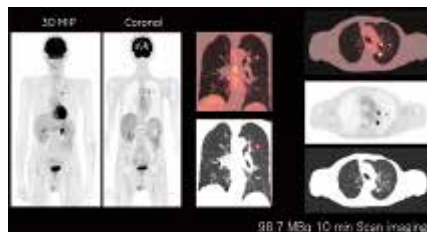
2018年3月に「5リング搭載高感度型 PET/CT 装置 (GE Healthcare 社製 Discovery IQ)」が導入され、従来の装置に比べ、低被ばくで高画質の検査が可能となりました。

また現在、検査予約待ちがほぼない状態で、患者様のご希望に添った検査予約が可能となっております。

● 地域医療機関の先生方へのお願い

FDG-PET/CT 検査は、悪性腫瘍（早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む）において保険の適用となり、検査目的は病期診断、再発・転移診断となっております。悪性腫瘍の疑いなどの良悪性鑑別、治療効果判定（悪性リンパ腫を除く）は、保険の適用外となりますのでご注意ください。

また、他の画像診断により病期診断、再発・転移診断が確定できない場合に限り、FDG-PET/CT 検査を受けられる前に、必ず CT・MRI の画像検査を施行し、画像データを持参していただきますようお願い致します。



地方独立行政法人 神戸市民病院機構  
**神戸市立医療センター中央市民病院**  
 Kobe City Medical Center General Hospital

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2-1-1

代表 Tel: 078-302-4321 Fax: 078-302-7537

FAX予約 Tel: 078-302-6031 Fax: 078-302-2251

地域医療連携センター

Tel: 078-302-4321(代) Fax: 078-302-4424

★緊急受診・転院のお問い合わせは★

専用ダイヤル：078-302-5172

平日 9:00 ~ 17:00 地域医療連携センター  
 上記以外の時間帯 救急外来受付

脳卒中ホットライン  
 078-302-8030

産科ホットライン  
 078-302-5104

胸痛ホットライン  
 078-302-6162

小児科ホットライン  
 078-302-5343